

## 2 高齢運転者による交通事故

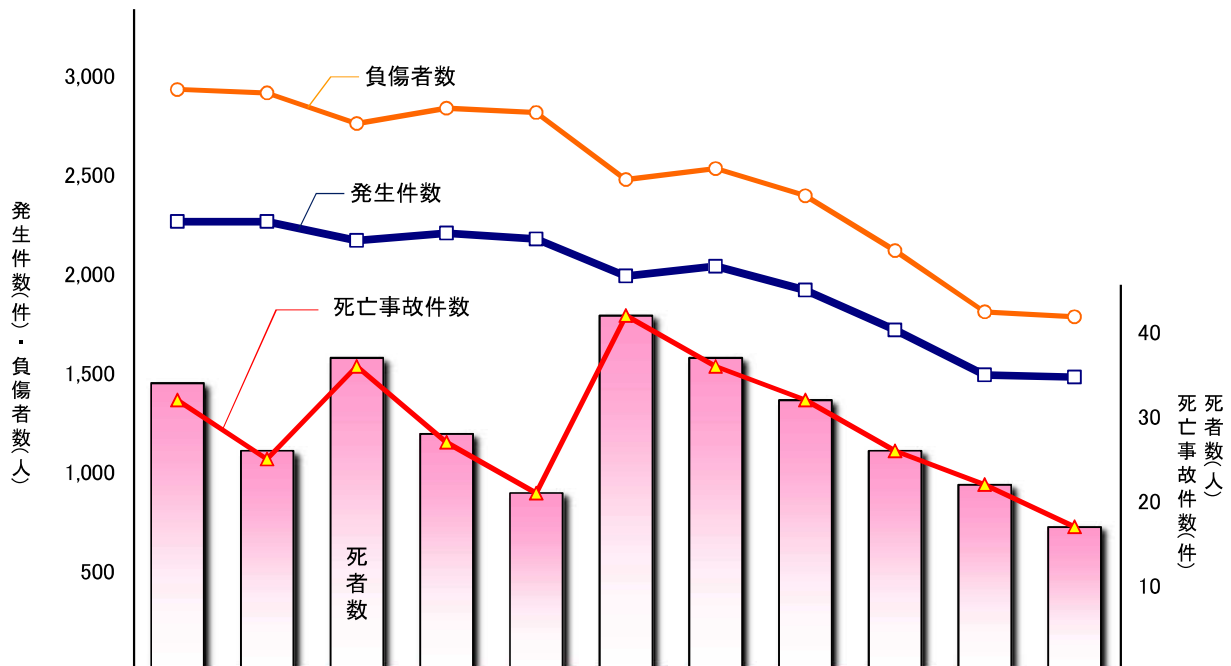
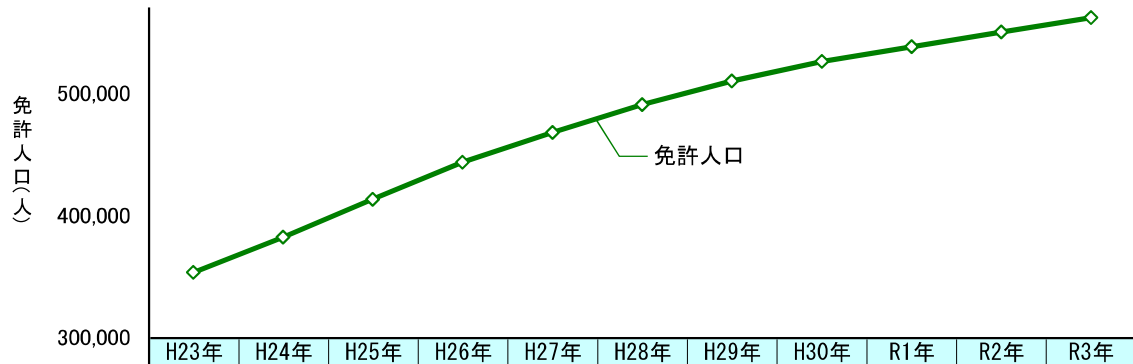
### (1) 推 移 (平成23年～令和3年)

高齢者免許人口は毎年増加し、令和3年は平成23年に比べ約1.6倍に増加しています。

発生件数は緩やかに減少していますが、全発生件数に占める構成率は毎年上昇し、令和3年は統計資料の残る平成2年以降で最高率を更新しました。

死亡事故件数は増減を繰り返して推移後、平成29年以降は5年連続で減少し、令和3年は統計資料の残る平成2年以降で最少となりました。

高齢運転者のうち「75歳以上」の免許人口は、平成23年に比べ約1.9倍に増加しています。



	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
発生件数	2,267	2,266	2,170	2,207	2,178	1,991	2,041	1,921	1,720	1,492	1,482
構成率	15.1	15.4	16.3	17.6	18.8	19.0	21.1	22.1	23.1	24.7	25.0
うち75歳以上	779	797	778	777	757	714	760	758	682	592	612
死亡事故件数	32	25	36	27	21	42	36	32	26	22	17
構成率	19.5	18.0	22.4	20.9	15.4	28.8	25.7	26.2	24.8	26.2	21.5
うち75歳以上	11	9	17	10	12	18	21	17	12	6	12
死者数	34	26	37	28	21	42	37	32	26	22	17
構成率	20.1	18.3	22.7	21.2	15.0	28.0	25.9	26.2	24.3	26.2	21.3
うち75歳以上	11	10	18	11	12	18	21	17	12	6	12
負傷者数	2,933	2,915	2,761	2,838	2,816	2,478	2,534	2,396	2,120	1,810	1,786
構成率	15.0	15.0	16.0	17.2	18.6	18.4	20.5	21.9	22.6	24.3	24.7
うち75歳以上	1,013	1,040	1,011	993	968	888	955	954	838	721	736
高齢者免許人口	353,319	382,239	413,286	443,799	468,146	490,820	510,198	526,263	538,357	550,354	562,142
構成率	17.3	18.7	20.1	21.6	22.8	23.8	24.8	25.6	26.3	26.9	27.5
うち75歳以上	100,264	108,473	115,681	123,106	133,995	146,038	156,142	166,467	174,485	179,224	188,566

※1 「発生件数」は、原付以上の車両を運転する高齢者が第1当事者となった交通事故の件数で、「死亡事故件数」は内数である。

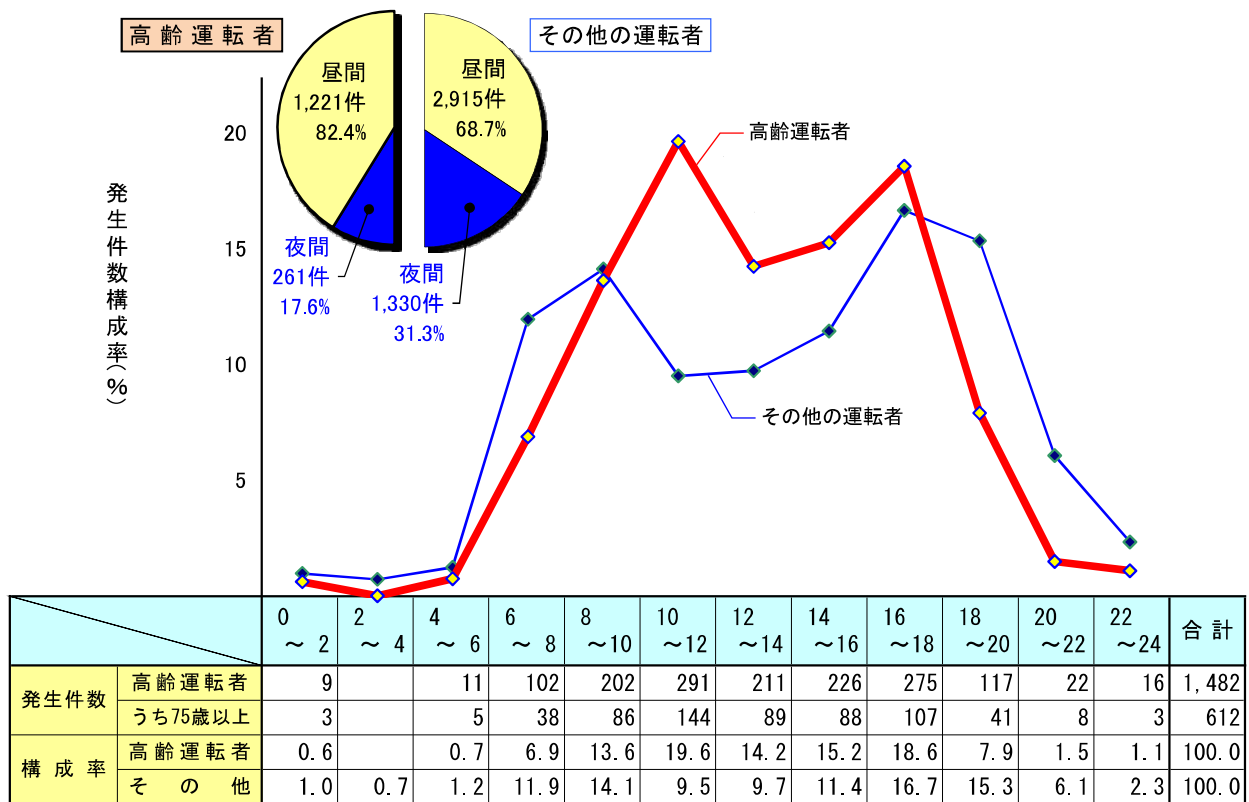
2 「死(負傷)者数」は、前記交通事故による全ての死(負傷)者数をいい、高齢運転者本人の死傷を含む。

3 発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数の「構成率」は、全交通事故(発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数)に占める割合とした。

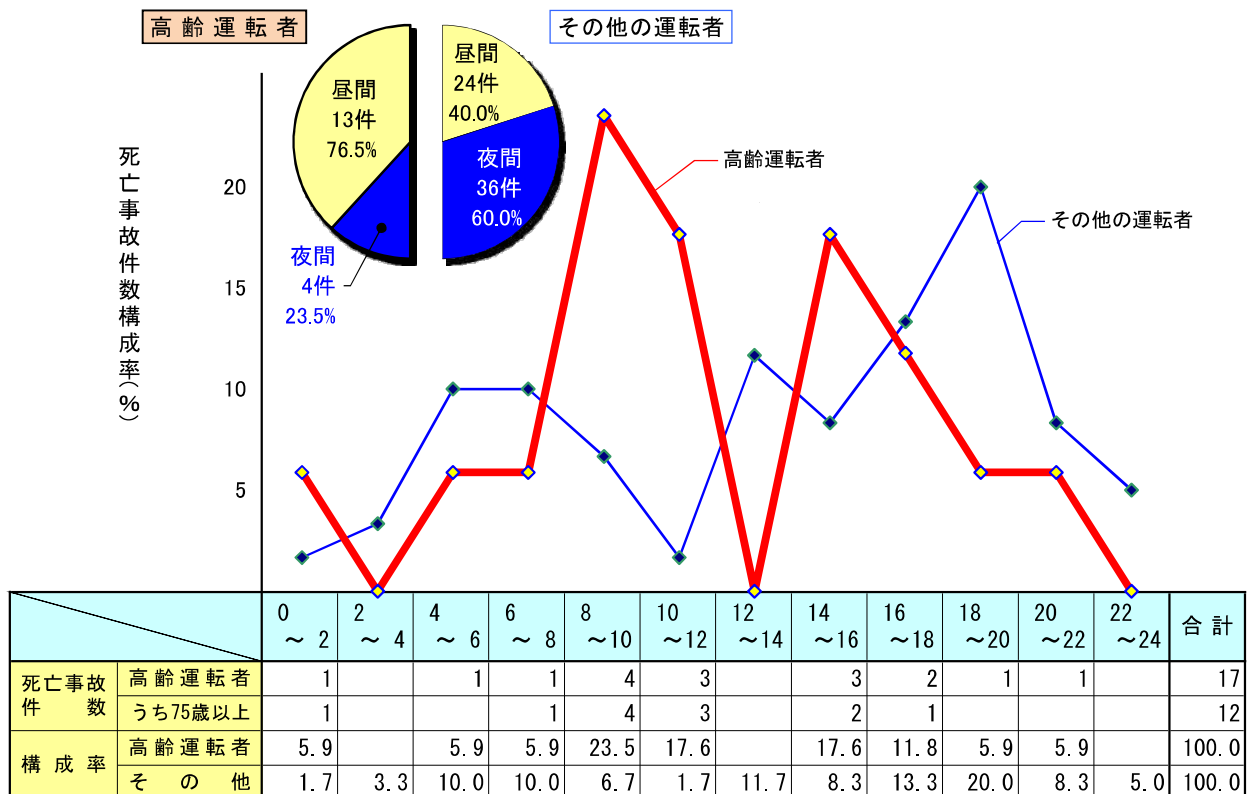
4 高齢者免許人口は茨城県警察資料(各年12月31日現在)で、「構成率」は全免許人口に占める割合とした。

(2) 時間・昼夜別

発生件数の時間別では「10～12時」、「16～18時」の順に多く、昼夜別では「昼間」が82.4%を占めています。  
 死亡事故件数の時間別では、「8～10時」が最も多く、昼夜別では「昼間」が76.5%を占めています。  
 発生件数、死亡事故件数とも、「その他の運転者」に比べ「昼間」の割合が高くなっています。



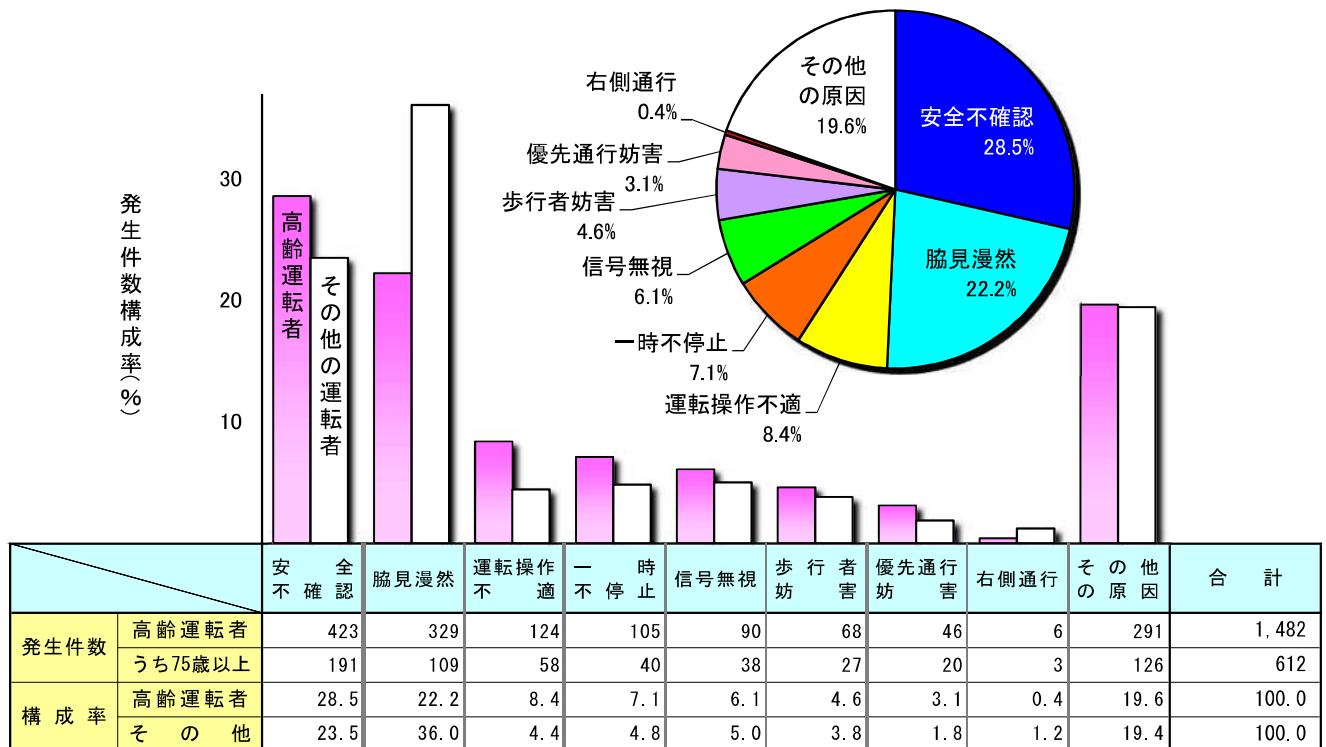
※1 「その他の運転者」とは高齢運転者以外の運転者で、「ひき逃げ・不明」、「自転車」、「歩行者」等は含まない。  
 2 昼夜の区分は、日の出、日没時刻を基準とした。



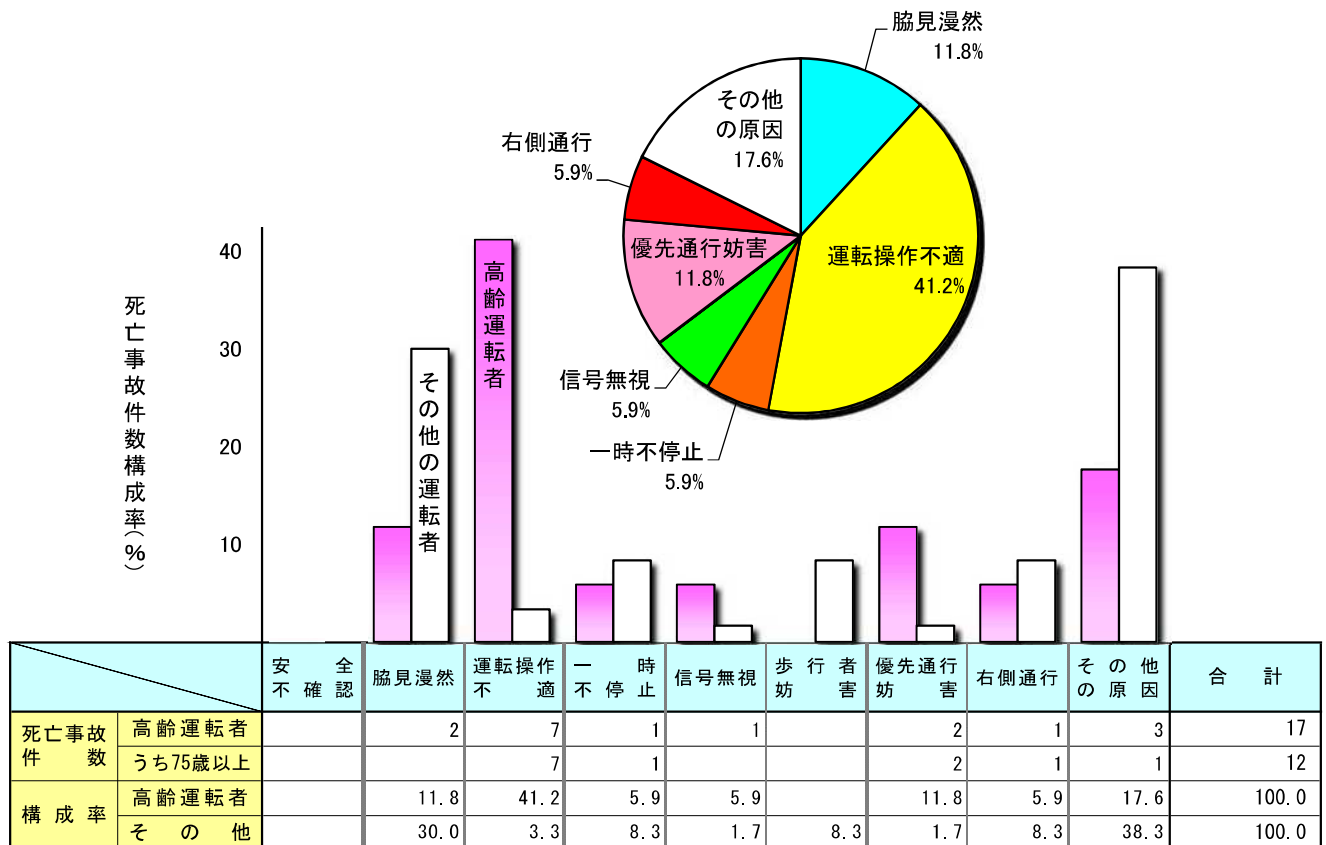
### (3) 原因別

発生件数は「安全不確認」、死亡事故件数は「運転操作不適」が最も多くなっています。

死亡事故件数の構成率では、「その他の運転者」に比べ「運転操作不適」が37.9ポイント、「優先通行妨害」が10.1ポイント高くなっています。



※「その他の運転者」とは高齢運転者以外の運転者で、「ひき逃げ・不明」、「自転車」、「歩行者」等は含まない。



#### (4) 事故類型別

発生件数は「出会い頭」、死亡事故件数は「人対車両」が最も多くなっています。

死亡事故件数の構成率では、「その他の運転者」に比べ「路外逸脱」が20.2ポイント高くなっています。

